

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

1. 対象 小学校 3年1組14名

本学級の児童は、授業に対して意欲的に取り組む子が多い。考えをノートに書いたり、それを発表して友達と交流したりすることができる。また読書に対しても意欲的に取り組む子が多い。その一方で読書に対して苦手意識を持つ子もいる。読み取りについては、場面をイメージしたり、気持ちを読み取ったりすることに苦手意識を持つ子が多くいる。このことから、何度も繰り返し文章を読み、叙述を基に考えを膨らめながら、友達と交流することで、登場人物の気持ちや変化の要因を捉えられるようにしていきたいと考えた。

2. 単元（題材）名「豆太日記を作り、豆太への手紙を書いて伝え合おう モチモチの木」（全7時間）

3. 単元（題材）で育成を目指す資質・能力

| | |
|--------------|--|
| 知識及び技能 | ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。 【C（1）イ】 ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わり結びつけて具体的に想像することができる。【C（1）エ】 |
| 学びに向かう力、人間性等 | ・進んで人物の性格や気持ちを捉え、学習課題に沿って読み取ったことをもとに日記にまとめ、感想を伝え合おうとすることができる。 |

4. 本時の目標

勇気かおくびょうかのグラフのズレに気付いた子どもたちが、叙述や挿絵をもとに考えたことを友達と交流することで、4場面の豆太の気持ちを考えることができる。

5. 授業展開【本時・単元（題材）】 ※本時または単元（題材）いずれかに○を付けてください。

| |
|--|
| 解決したい課題や問い |
| 豆太は、勇気がある子なのか、それともおくびょうな子なのか？（単元を貫く問い） |

| 考えるための材料1 | 考えるための材料2 | 考えるための材料3 | 考えるための材料4 |
|---|--------------------------|--|--|
| 今まで読み取ったことをまとめてきた豆太日記 | 挿絵 | 気持ちの心情変化グラフ（スプレッドシート） | 本文入りのワークシート |
| 想定される活動 | 想定される活動 | 想定される活動 | 想定される活動 |
| 前時の気持ちと比べることで類似点や相違点を見つけ、豆太が変化したことを読み取る | 挿絵の表情や行動からその場面の気持ちを想像する。 | 導入で個人の考えを入力して、比べることでズレがあることに気づき、なぜそう考えたか疑問を持つ。 | 気持ちが分かる本文に線を引きながら考えることで叙述を基に意見を持つことができる。 |

| |
|---|
| 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス） |
| ペア（5分）→全体（10分）叙述をもとに考えた豆太の気持ちを交流する ふっとばして走り出したところから豆太はじさまを助けたかったし、とても急いでいたと思うよ。 寒い中はだして走って医者様を呼びにいった豆太は勇気があるよ。 夢中で医者様を呼びに行っているから、モチモチの木のことは、忘れていていると思うよ。 呼びに行った後も、手伝いをしているからそれほどじさまのことが心配だったと思うよ。 |

| |
|--|
| 学習の成果（予想される子供のあらわれ） |
| 勇気がある豆太 おくびょうだけど、じさまのために勇気を出した豆太 勇気がある子に成長した豆太 勇気を出して灯がついているモチモチの木を見ることができた豆太 |